

FIWARE Foundation との協業協定締結について

ー データ流通に向けた技術開発と国際標準へ向けた協業に合意 ー

一般社団法人データ流通推進協議会（所在地：東京都港区、理事長 村井 純、以下 DTA）は、世界規模でスマートソリューションの標準とオープンソーステクノロジーの展開を進める FIWARE Foundation と、2020年2月19日にベルリンにて協業協定を締結しました。

これにより、両団体は、持続的なスマートソリューションを世界規模で展開することに注力し、データ交換、データカタログ、データマーケットプレイスなどのデータ流通技術に関する技術開発と国際標準化に焦点を当てた協業を開始します。

この提携で最も重要なことは、オープンソースに基づいて実装された、持続可能なスマートソリューションをオープンな標準に基づいた技術として、相互運用を進めることです。今後、両団体は、戦略的パートナーとして、データ共有を促進し、オープンソーステクノロジーを使用した国際標準の実装を推進する活動を始動する予定です。

データインフラストラクチャを構成するプラットフォームとデジタルインフラストラクチャの中心にあるのは共通標準であり、これによりソリューションの相互運用性と移植性が実現します。このような共通標準において、オープンソースソリューションが他のアプリケーションまたは既に開発され広く利用可能なソフトウェアの一部と連携することは、広い相互接続性の実現と導入運用コストの低廉化をもたらします。標準化された方法でデータを公開および使用できることにより、テクノロジーユーザーとプロバイダーは新しいビジネスモデルを推進し、オープンなエコシステムを作成し、行政がより効果的な公共サービスを提供できるよう支援し、社会基盤の向上に寄与するものと期待されます。

この提携にわたり、両団体の代表者は、以下のコメントを発表しました。

For Hiroshi Mano, DTA's Secretary General, this cooperation has the potential to improve the value of data-driven ecosystems across many sectors.

“The next large-scale transformation, leading to a human-centric society based on a system that highly integrates cyberspace and physical space has been termed Society 5.0 in Japan. Data sharing, augmented by algorithmic decision-making, artificial intelligence and information technology, is a fundamental building block toward achieving this vision. Innovative services will be created by data generated by smart applications in multiple sectors through free and fair-trading mechanisms. The

Open Source platform components provided by FIWARE definitely accelerate data transactions.”

For Ulrich Ahle, FIWARE Foundation CEO, having a strong partner ecosystem means adding further value to the services provided to FIWARE members, not only by helping them deliver innovative solutions but also guiding them on their vision and goals.

“Technologies such as edge computing, robot integration, artificial intelligence, blockchain (to name but a few) are becoming key driving forces in societal transformation and the FIWARE Community has been striving to cater for this revolution. Hence, adding DTA to the FIWARE Community’s efforts further mirrors our acute commitment to this new level of innovation. The Japan-based organization believes that the distribution of data and materialization of a data-driven society are vital in supporting the activation of the Japanese industry, thereby strengthening the country’s international competitiveness. Hence, we can only see positive synergies with DTA.”

■FIWARE Foundation について

2016年にAtos、Engineering、Orange、Telefonicaによって設立されたFIWARE Foundationは、そのメンバーやパートナーとともに、ポータブルで相互運用可能なスマートソリューションをより迅速に開発できるようにする主要なオープンデファクトスタンダードの定義とオープンソース実装を推進しています、ベンダーロックインシナリオを回避しながら、より簡単で手頃な価格で、また、持続可能でイノベーション主導型のビジネスエコシステムを推進しています。FIWARE Foundationは、共通のビジョンを共有する急成長中のグローバルコミュニティの支援を受けて、FIWAREを産業、政府、大学、および産業界が持つ可能性を最大限に引き出し、活動を拡大するためにオープンソーステクノロジーへの取り組みを進め、新しい市場参入とビジネスを成長させます。

■データ流通推進協議会（DTA）について

2017年に日本で設立されデータ流通と関連事業者間の協力を促進するため、業態業種を超えた140以上の会員により構成されている民間組織です。データ主導型社会をリードするDTAは、ユーザーが必要なデータを簡単に収集して使用できるように、技術的および体系的な環境を構築することを目指しています。そのビジョンを実現するために、DTAは技術基準検討委員会、運用基準検討委員会、認定審査委員会、利活用促進委員会及び国際標準化推進委員会を設置しています。また、国際標準化団体であるIEEEにおいて、DTSI(Data Trading System Initiative)を提案しリードしています。

本件の一部は、内閣府が実施し国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が管理法人を務める「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」の「スマートシティアーキテクチャ構築／スマートシティアーキテクチャ設計と関係実証研究の推進」によるものです。

本件に関するお問い合わせ

一般社団法人データ流通推進協議会 事務局 dta-office@data-trading.org